

今帰仁つ子 渡名喜満喫

41人、島の子と交流

【渡名喜】沖縄本島の小学生が離島地域の魅力を実感するため離島で民泊し、住民らと交流する県の「沖縄離島体験交流促進事業」で、今帰仁小学校の5年生41人が、6月25～27日の日程で渡名喜島を訪れた。

集落散策・追い込み漁体験



水上綱引きで盛り上がる今帰仁小の子どもたち＝渡名喜村・東浜

国の重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている島の集落の散策や追い込み漁体験、ナイトトレッキングでのヤシガニ観察、大正時代から続く伝統の「朝起き会」参加など、初めての体験を堪能した。

東浜のビーチでは渡名喜幼小中学校の生徒と一緒に水泳教室の体験も行った。

渡名喜島の生徒は幼小中学生に3歳児を合わせても全員で35人。今帰仁小の人数に圧倒されていた渡名喜の子どもたちも、水上騎馬戦や綱引きを通じて年齢を問わず楽しく交流した。

近年、少子化が続く渡名喜島。多くの子供たちが浜辺で泳ぐ姿を見た高齢者が「昔を思い出すね」と涙ぐむ場面もあった。

(高橋和淑通信員)